



卷 頭 言

(第三回代議員會に於ける針塚會長の開會の挨拶)

本日 吾が同窓會の第三回代議員會を開催するにあたり、公私とも御繁務の折柄而も遠方の全国各地より、かく多數代議員諸君の御來會を得たるは衷心御同慶の至りに堪えず、深く感謝の意を表する次第なり。

近來 吾が鬚髮徒らに霜枯れて、彌か上にも白きを加え遽かに歳ふりたれば、久瀾の諸君は定めし一驚を喫することならん。又地を換えて吾より言へば、昔紅顏の青年たりし諸君も今は堂々たる一かごの紳士となり相當の年輩となられたるを見て、昔を追憶し轉た今昔の感に堪えず。かくの如く吾等は年々歳々其の齡を重ねるものなるが、世運の進展も亦歳と共に發達するものなれば吾等は不斷の努力を以つて智識經驗を積み、以て多事多端なる前途を打開せんことを切望するものなり。

本日の御協議は畢竟するに學校と同窓會と協力一致して母校のために、將又蠶糸業將來のために進歩發達を期する意味に外ならず。

翻つて我國蠶糸業の現状を觀るに、昨今絲價の暴落と共に甚だしく不況

に沈淪し今や最も重大なる時期に際會せるが如き感あり、糸價の如きも遂に千二百圓台を割らんとしつゝある現況なり。乍然吾人は之によつて特に蠶絲業の前途を憂ふるものに非ず益々奮勵努力して此の難局を擊破打開する要あらん。

抑も今日絲價暴落の原因は那邊に在りやと云ふに、さして深き禍根を藏するに非ざるものと信ず。

人造絹絲の異常なる進歩發達必ずしも影響なしと云ふべからざるも、人造絹絲には彼れ獨自の往くべき進路ありて天然絹絲の特有なる前途を犯すが如きこと萬有るべからざれば之又恐るゝに足らず。

支那の蠶絲業も近年甚しく擡頭し、めざましき發展をなしつつあるも現在にては此の影響かく大なりとは想像すべからず、支那の蠶絲業は只「隣邦の蠶絲業」として發展せしむべきにして、我國も其の覺悟を持って益々改善すれば即ち足る。豈周章驚愕を要せん哉。

然らば其の主因とする所は何ぞやと云ふに、是れ極めて一時的の現象にして専ら米國の經濟事情のしからしむる所によるならん。

米國は大戰終了後諸外國に莫大なる資金の融通を爲せしが、昨今の不況殃ひして其の返濟思はしからず、又一方米國に於ける禁酒令の施行はひいて民間、特に勞働者階級に余裕の金を生せしめたれば、此等遊金の刺戟によつて株の賣買に投資するに至り、爲に株界の般振は古今未曾有の盛況を呈するに至れり。然るに其後英國に於ては戰後の状態に鑑み金利の引き揚げを行ひたるが故に、從來英國より米國へ流出せし資金は逆轉して米國より英國へ流入するに至り、かゝる變換の影響が忽ち株界に及ぼして、之等によつて生せる損害は實に巨額に達し、百五十億弗と註せらる。かゝる相亞げる不況のため、米國の物價は甚しく低落し、所謂不景氣を招來したれば、自然本邦輸出の生糸にも影響を來し、遂に千三百圓を

割つて千二百圓時代を現出するに至れり。

右の如き原因によるものなるが故に、米國財界の恢復と同時に絲價の好轉は明らけく、即ち敢て絲價低落が一时的現象なりと斷ずる所以なり。

如斯き見地より考ふるも此の期に處して學校の將來を談じ蠶絲業の前途を論ずるはまことに有意義のこと云ふべきなり、殊に明年は廿周年の紀念に相當すれば此の問題に對しても隔意無き意見の交換を行ひ充分協議を遂げられんことを望む。

更に學校自体の現況に就て一言せんに、諸君も正門前に御覽の如く百余坪の地を擁し、三万八千圓の費用を投じ小規模ながら講堂を建築しつゝあり。此の計畫は本年中に完成を見る豫定にて晝夜兼行に急ぎつゝあれば多分昭和五年一月の祝賀式には新講堂に於て舉式せらるゝこと信ずるものなり。

此の外、養蠶部、製糸部、寄宿舎、圖書館、書庫等の増設、蠶絲化學の獨立、教婦養成所の新設等を計畫して提案したるが現在緊縮政策の折柄なるが故に其の前途は樂觀を許すべからざるも、意志の在る所必ず道あれば誠心を以つて他日之が達成を期する考へなり、今回も此等の要務を滞して上京し文部當局と種々熟談したるか、生物の研究室のみは多分通過の見込みなり。

諸君は切角遠路御來校を煩はしたるに拘らず設備萬端不行届きにて其の勞を慰する道にあらざるも、學校の現狀に鑑み諒承を乞ひ蕪辭を陳べて御挨拶となす次第なり。

(昭和四、一一、二三)